

# 「高千穂郷」通信

平成15年 12月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.13



## 高千穂郷の冬

雪化粧をした祖母山（撮影地：高千穂町三秀台）



西臼杵の農山村では、カルイを背負った姿をよく見かける。



軒先に吊された干し柿



刈干風景。とうび(干草の積まれたもの)は、牛の飼料などに使われる。



神楽の夜、高千穂町浅ヶ部地区では、獅子が家々を訪れる。ガブリと囃んでもらって、子供の健やかな成長と家内安全を祈る。



夜神楽の「七貴神」には、支庁長も飛び入り参加（高千穂町岩戸「神楽の館」）



神楽には子供たちも参加

# 第8回宮崎県地域づくり団体研修交流会



五ヶ瀬中等教育学校の生徒による力強い「五ヶ瀬太鼓」



6つのグループに分かれて分散会を行った。写真は「自然を活かした地域づくり」について意見を交換した皆さん



盛んな意見交換が行われた県地域づくり団体研修交流会（12月6日、五ヶ瀬町民センター）



県内の地域づくり団体（35団体約100名）が参加した「第8回宮崎県地域づくり団体研修交流会」が、五ヶ瀬町で開催されました。交流会は、五ヶ瀬中等教育学校の生徒による熱のこもった五ヶ瀬太鼓で始まり、「夕日の里づくり推進会議」と「雪の五ヶ瀬村おこしグループ」の事例発表や分散会などが行われました。参加者それぞれの熱い思いが伝わってくる交流会の様子を紹介します。



## 【分散会内容発表から】

～「文化を活かした地域づくり」について～



分散会の内容を発表する土風緑（どぶろく）の会事務局長の尾前賢了（けんりょう）さん（椎葉村）

- ・地域づくりは、一朝一夕にはできません。長い時間と情熱が必要です。
- ・文化は、伝統、風俗など先祖から受け継いだものであり、人生や衣食住そのものが文化と言えるのではないのでしょうか。
- ・こういう視点で文化を捉えると、人間そのものが文化であり、自分を見つめることが大事ということになります。文化はそこから始まるのであり、結局は人づくり。地道な活動が大切になります。
- ・少子・高齢化が進み、文化が途絶えがちになっています。椎葉村には、茅葺きの家が無くなりました。茅葺きの文化が途絶えてしまったのです。昔は、地域で茅をとる山を持っていて、みんなで担いで山から降り、茅を賣っていました。ものすごくハードな共同作業。支えていく人がいなくなれば、文化も消えてしまいます。
- ・一步一步、長い時間と情熱をかけて、自分が持っているものを次の世代に全て伝えて残すことが大切だと思います。

## 【事例発表】夕日の里づくり推進会議 佐藤成志（せいし）さん

- ・「おかえりなさい」を合い言葉に桑野内地区の住民が、平成8年度からグリーンツーリズム事業に取り組んでいます。北の玄関口として、福岡都市圏とも近い桑野内からは、阿蘇・祖母の山々を見渡すことができます。
- よそにはない風景を生かそうと夕陽の里フェスタを開いて今年で8回目。雨天のなか、県内外から約1,500人が来てくれました。



自分たちの活動について熱く語る佐藤成志さん

- ・私たちにとって、桑野内の夕陽は日常的な風景ですが、この夕陽に感動する人がたくさんいること。また、1月には夜神楽もあり、当たり前のこととして伝承してきた郷土芸能にも感動してくれる人がいることを知りました。こういう経験から、私たちの宝物を外から来た人に気づかされ、自分たちの地域の良さに目を向けるようになりました。
- ・始めの頃は、地域内にも批判がありましたが、経験を重ねることで、住民の意識も少しずつ変わっていきました。地域づくりには、住民の自立が欠かせないと思います。

## 【事例発表】雪の五ヶ瀬村おこしグループ

みはや ゆうじ  
造準勇治さん



会長の造準勇治さん

- ・雪だるまの宅配や養護学校への雪の運搬など、今まで生活面に大きな支障をきたしていた雪を活かした地域づくりを行ってきました。
- ・現在は、霧立越え縦走コースの整備や地域文化の継承など、雪以外の活動にも取り組んでいます。
- ・常に目標を持ち、自分たちで動くことが大切。これからもいい仲間と明るく、楽しく、元気よく地域おこしを続けたいと思います。

## 【総括】

- ・地域の大切な財産である「自然」「人」「文化」について、今一度見直さなければいけない時期にきています。
- ・これからの地（五ヶ瀬町）域づくりは、それぞれの地域の特徴を自己主張していく時代であり、自分たちが主体性を持って、活動することが大切です。
- ・今後は、女性の視点と元気なパワーも必要になってくると思われます。



分散会を総括する後藤福光さん

## 管内全ての牛の届出が行われました



牛の届出を行う西白杵地域の農家の皆さん

国産牛肉に対する消費者の信頼を確保するため、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法（通称：牛肉トレサ法）」が12/1に施行されました。

このため、肉用牛農家は12/1現在の牛の届出を行う必要があり、管内においても12/18に関係機関一体となって、生産者への法律の説明や届出内容の確認を行いました。



国内の牛にはすべて耳の部分に、個体識別番号が付けられています。

当日は、関係機関総勢36名12班体制で、管内の約14,000頭の肉用牛について生年月日や雌雄の別、牛の種別、10桁耳標番号等を生産者と膝を突き合わせて確認しました。今回の届出により、高千穂牛の更なる安全・安心が確保され、消費者ニーズに対応した産地体制が確立されます。

## 第6回西白杵農山村いきいき交流会 開催



1分間スピーチで自分の思いを語る参加者。この交流会は、農山村における男女共同参画社会づくりに向けた活動の輪を更に広げることを目的に開催。管内から約220名が参加して、盛んな意見交換会が行われた。（12月10日 高千穂町）

### 【大会宣言】

本日ここに西白杵農林業の担い手が「地域の輪、男女の輪、家族の輪」をスローガンに掲げ一堂に会しました。

私達は、自らの暮らしと職業に、自信と誇りをもち、いきいきとした魅力的な農山村の暮らしを日々探求して参ります。

また「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女が共に支え合う社会の実現に向けて知恵と情報を交換し、伸びゆく郷土の発展と豊かな農山村づくりにパートナーシップを発揮し、力を尽くしていくことを確認しここに宣言します。



高千穂高校・農業科の生徒も参加し、堂々と意見を發表した。



休憩時間には、昔使っていた農機具の説明も行われた。

## 冬の交通規制時には チェーン装着を！

これから本格的な冬がやって来ます。ここ西白杵では毎年のように雪や路面凍結のため、普通タイヤで走行することが不可能な状態となります。このような場合、西白杵支庁土木課では、チェーンまたは雪や路面凍結でも走行できるタイヤを装着した車両のみを通行可とするチェーン規制を行います。



路面凍結時の国道265号（五ヶ瀬町）

雪道や凍結した道路を普通タイヤで走行するとスリップ事故や、走行困難による立ち往生の原因となり、交通渋滞を起こすこととなります。

チェーン規制中には、チェーンが雪や路面凍結対応のタイヤを必ず装着してください。

## 狩猟解禁

～ルールとマナーを守って、安全で楽しい猟を～

11月15日から来年2月15日までは、狩猟が解禁されます。

シカについては、生息状況や農作物への被害実態などを踏まえ、今年からメスジカの可猟地域が拡大（管内では、新たに五ヶ瀬町全域でメスジカの捕獲が可能となりました）され、可猟期間も1ヶ月延長（3月15日まで）されました。

このように猟をする機会が増えましたので、法律やマナーの遵守はもちろんのこと、なお一層の安全狩猟を心掛けてください。



県内の狩猟期間 11/15～2/15  
（\*ただし、メスジカ可猟域内に限り、シカの狩猟期間は11/15～3/15）

林研グループの店 「かんとりーさいど」オープン (日之影町)



11月21日、国道218号沿いにオープンした『村おこし屋「かんとりーさいど」』日之影町の男女林研グループが運営している。(日之影町上下顔(かみもつら))

日之影町は面積の90%が森林で占められています。「森林(れ)に感謝」の思いから、日之影町の林研グループが中心になって、森林に関する様々な情報発信の中継基地として、「かんとりーさいど」を出店しました。現在は、土日及び祝祭日のみの営業ですが、将来的には連日の営業を目標に頑張っています。



店内には、美しい草木染めのスカーフや木ぎれを生かした箸置きなどが並んでいます。

堆肥無人販売所オープン!



国道218号沿いに設置された堆肥無人販売所(日之影町宮水)

J A高千穂地区では、J A堆肥リサイクルセンターで生産された牛ふん堆肥の利用促進を図るため、堆肥無人販売所を新たに3カ所オープンしました。

以前からJ A本所1階に無人販売所を設置して

いましたが、店舗数の拡大を要望する声も多かったことから、今回の設置となりました。

堆肥の品質は、県たい肥共励会で3年連続入賞する等、折り紙付きです。どうぞご利用ください。

【設置場所の紹介】

- 高千穂町上野: J Aがソリストア 近く(国道325号沿い)
- 日之影町宮水: J A宮水野菜集出荷場(国道218号沿い)
- 五ヶ瀬町三ヶ所: Aコープ駐車場内

フラワーアレンジ体験学習



きれいに仕上がった生徒たちの作品

初めてフラワーアレンジに取り組んだ高千穂町立高千穂中学校の生徒たち

西臼杵管内の4つの小中学校(延べ230人)で、“花のある豊かな心の育成”を目標にフラワーアレンジ体験学習が行われました。

初めて経験する児童・先生方ばかりでしたが、大好評で、みなさん楽しい時間を過ごしていました。

(主催:「みやざきの花」普及促進協議会)

編集後記

先日、宮崎へ出張するため、早朝TR高千穂駅へ歩いていたら、雪が降り始めてきた。暖かい日が続いていたので「冬はやっぱりこのくらい寒くないと…」と最初は思ったが、体が芯から冷えて、おまけに頭まで痛くなってくると、暖かい日が懐かしく思えてしまう。冬と言えばスキー。五ヶ瀬町の広報担当の菊池さんから「五ヶ瀬ハイランドスキー場には雪がバッチリ積もって、お客さんも増えてきました」と明るい声。今シーズンは、若者に交じて人気のスノーボードに挑戦してみるかな? 神楽、猪鍋、カッポ酒...西臼杵の冬は寒いけれど、その分楽しみも多い。囃

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

キャッチフレーズ・シンボルマークの募集

第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」

平成17年5月、高千穂町で第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」が開催されます。この催しは、野鳥の保護を推進し、愛鳥思想を広く普及させることを目的にしています。今回「全国野鳥保護のつどい」のキャッチフレーズとシンボルマークを募集することになりました。応募方法などの詳細は、問い合わせ先まで、ご連絡ください。



応募×切 平成16年1月30日(金) \*当日消印有効  
賞 金 最優秀賞 各1点 賞10万円  
優秀賞 各5点 " 3万円  
\*小・中・高等学校の児童・生徒の場合は、賞金額相当の図書券等になります。

問い合わせ先  
県生活環境課「キャッチフレーズ・シンボルマークの募集係」  
TEL 0985(26)7291